

## 野沢温泉村への学生派遣プログラム2015の振り返り

### プログラムの主な問題点・課題

### 解決策・対応策の提言

- |                                    |   |  |
|------------------------------------|---|--|
| ①3班とも同じテーマだった                      | ⇒ | 解決・提言をしやすいテーマの選択肢が必要                                     |
| ②テーマ内容が堅かった                        |   |  |
| ③自由な時間が少なかった                       | ⇒ | 日程を増やす   |
| ④期間が短く中間発表までの時間がなかった               |   |  |
| ⑤中間発表で質問が出なかった                     | ⇒ | 概略のレジュメを準備する<br>質問がない場合に質問をしてもらう人を予め決めてお願いをする（匿名アンケート用意） |
| ⑥取材場所が他の班と重なったため差別化しづらい            | ⇒ | タイミングをずらす  |
| ⑦通学するキャンパスが異なる人がいるため、全員が集まるのは難しかった | ⇒ | 同じキャンパスでグループを構成する<br>（キャンパス制限を設ける）                       |

### 期待すること・できること

- |   |  |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・学生の観光客を増やす</li><li>・インターンシップを行う</li><li>・体育実習で野沢温泉村を利用してもらう</li><li>・ゼミ・サークル合宿</li><li>・明大サポートが企画</li><li>・冬の野沢温泉村をPRする</li><li>・村役場や村民へのプレゼン</li><li>・村民会議に学生が参加</li><li>・地域情報や課題解決への提言を村民に伝える<br/>(例：ケーブルTV)</li><li>・グループごとに民宿を別にし、学生目線で課題を見つける</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>・ホームカミングデーに参加してもらう</li><li>・発表会でビジネスコンテストを行う</li><li>・外部のコンテストに出展</li><li>・運営出店（例：朝市に参加）</li><li>・提言内容の仮イベント化</li><li>・飯山高校の人と合同</li><li>・現地の同年代の人も交えて取り組む</li><li>・教職員も含めたグループ構成をする</li><li>・提言だけではなく、実現を目指す</li><li>・消費者として野沢温泉村へ</li><li>・明大OB・OG・スキー部に話を聞く</li></ul> |
|---|--|